

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公開番号】特開 2001-110120 (P2001-110120A)
 【公開日】平成 13 年 4 月 20 日 (2001.4.20)
 【出願番号】特願 平 11-288064
 【国際特許分類】

G 1 1 B 17/043 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 17/04 4 1 3 J

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 挿入されたディスクを保持するとともにイジェクト操作に伴いディスクを排出するディスク排出機構を備えたキャリアと、

ディスクの挿入動作に連動して前記キャリアを所定のディスク装填位置へ移動させるとともに、イジェクト操作に伴い後方に移動して前記ディスク排出機構を作動させ、かつ前記キャリアを所定のディスク排出位置へ移動させるスライダと、

底面から起立した対向する一対の側壁を有し、前記キャリアが組み込まれたスライダを前後方向へ移動自在に支持するフレームと、

を備えたディスクドライブ装置において、

前記スライダに突出片を設けるとともに、前記フレームの側壁にこの突出片に係合する支持溝を設け、これら突出片と支持溝との係合により前記スライダをフレームに保持する構造とし、

かつ前記支持溝が、前後方向に延びるとともに、後端部に前記突出片を開放する開口を有し、

前記支持溝の開口は、前記スライダが前記ディスク排出機構を作動させる第 1 移動位置からさらに後方にある第 2 移動位置へ移動したとき、前記突出片を前記支持溝から開放する位置に形成されており、

さらに、前記スライダの第 1 移動位置から第 2 移動位置への移動を規制する着脱可能な移動規制手段を備えたことを特徴とするディスクドライブ装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載のディスクドライブ装置において、

前記フレームは表面が開口し、この表面開口部にカバーが締結具をもって装着される構成であり、

前記締結具に前記移動規制手段の機能をもたせ、前記スライダの第 1 移動位置から第 2 移動位置まで間の軌道上に前記締結具を介在させる構成としたことを特徴とするディスクドライブ装置。

【請求項 3】 請求項 1 又は 2 のディスクドライブ装置において、

前記フレームに係合壁部を形成するとともに、前記スライダにこの係合壁部と係合する係合部を形成し、スライダが前記第 2 移動位置まで移動したとき前記係合壁部と係合部との間の係合状態が解除されるように構成したことを特徴とするディスクドライブ装置。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 3 記載のいずれか一項に記載したディスクドライブ装置において、

前記支持溝を、前記フレームの各側壁の中間高さ位置に形成するとともに、この支持溝に係合する前記突出片を段差形状とすることにより、前記スライダの表面を前記フレームの側壁部先端縁と略同一高さに設定したことを特徴とするディスクドライブ装置。